

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人睦学園

(2) 大学名

兵庫大学

(3) 大学の位置

〒675-0195

兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ワタナベ アズマ 渡邊 東 (平成20年1月15日)		
学長	コウノ マコト 河野 真 (平成28年7月1日)		
学部長	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		
学科長等	ナガオ ミツシロ 長尾 光城 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4 年	90 人	- 年次 人	360 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 () []	人	90 () []	人	() []	人	() []	人	1.17倍	
志願者数	626 () []	() []	601 () []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	600 () []	() []	576 () []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	152 () []	() []	143 () []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	109 () []	() []	103 () []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.21		1.14							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	110 [-] (-)	- [-] (-)	103 [-] (-)	- [-] (-)					
2年次	/		106 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次	/		/						
4年次	/		/						
計	110 [-] (-)		209 [-] (-)						

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	110 人	4 人	平成29年度	4 人	0 人	・就学意欲の低下(2人) ・就職(1人) ・学生個人の心身に関する事情(1人)
平成30年度	209 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	319 人	4 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{110} = \boxed{3.63} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{209} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
精神の	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								1
	実用英語Ⅰ	1後	2								1
	実用英語Ⅱ	2前	2								1
	実用英語Ⅲ	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								2
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)	1後	2								1
デキャリアリア	私のためのキャリア設計	1前	2								1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
精神の	宗教と人生	1前	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の学びと和	1後	2								2
	兵大京都学	1後	1								2
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								4
	実用英語Ⅰ	1後	2								3
	実用英語Ⅱ	2前	2								3
	実用英語Ⅲ	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								1
	韓国語(中級)	1後	2								1
	コンピュータ演習	1前	2								3
コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2	
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
	地域に学ぶ	地域文化論	1後	2							
建築デザインと地域		1後	2								1
地域と文化財		1後	2								1
地域資料を読む		1後	2								1
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
現代社会の理解	1前	2								2	
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
プログラミング入門	1後	2								1	
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2			1					1
	健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)	1後	2								1
デキャリアリア	私のためのキャリア設計	1前	2								1
	入門ボランティア	1通	2								3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
I群(健康支援と社会保険制度)	社会福祉論	1後									1
	人間関係論(カウンセリング含む)	2前	2								1
	家族関係論	1後	2								1
	精神保健	1後	2								1
	環境保健学	3前	1			1					1
	保健医療福祉行政論	2後	2				1				1
	公衆衛生学(疫学含む)	2後	2			1					1
	保健統計学	2前	2								1
	生物基礎	1前	2								2
	化学基礎	1前	2								3
II群(人体の構造と機能)	形態機能論I	1前	2			1					
	形態機能論II	1後	2			1					
	生化学(未開講)	1後	2	2							1
	栄養学(食品学を含む)	1後	2								1
	薬理学	2前	2			1					
	免疫・微生物学	2後	2			1					
	臨床病理病態学I(内科系)	2前	2			1					
	臨床病理病態学II(内科系)	2後	2			1					
	臨床病理病態学III(外科系)	2後	2			1					
	臨床病理病態学IV(周産期・小児科系)	2前	2				1				1
III群(疾病の成立及び回復の促進)	看護学概論	1前	2			1					
	看護理論	1後	1			1					
	ヘルスアセスメント	1後	1			1	1	1	1	2	
	看護技術論I(生活技術援助)	1前	2			1	1	1	1	2	
	看護技術論II(診療技術援助)	2前	2			1	1	1	1	2	
	看護技術論III(看護過程)	2後	1			1	1	1	1	2	
	基礎看護学実習I	1後	1			1	1	1	3	9	
	基礎看護学実習II	2後	2			1	1	1	3	9	
	看護教育学	4前	1			1					
	看護倫理	4前	1			1					
看護管理学	3前	1			1						
IV群(基礎看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1			2
	成人看護援助論I(生命危機状態にある人)	3前	2			1	1	3	1	1	
	成人看護援助論II(常態の維持・増進が困難な人)	3前	2			1		3	1	1	
	成人看護学実習I	3後	3			1	1	3	1	1	
	成人看護学実習II	3後	3			1	1	3	1	1	
	老年看護学概論	2前	2			1	1				
	老年看護援助論	3前	2			1	1		1		
	老年看護学実習I	3後	2			1	1		1	2	
	老年看護学実習II	3後	2			1	1		1	2	
	V群(成人・老年看護学)	母性看護学概論	2前	2			1				
母性看護援助論		3前	2			1		2			
母性看護学実習		3後	2			1		2		1	
小児看護学概論		2後	2				1				
小児看護援助論		3前	2				1				
小児看護学実習		3後	2				1			1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
I群(健康支援と社会保険制度)	社会福祉論	1後		2								1
	人間関係論(未開講)(カウンセリング含む)	2前		2								1
	家族関係論	1後		2			1					1
	精神保健	1後		2								1
	環境保健学	3前		2								1
	保健医療福祉行政論	2後	2					1				1
	公衆衛生学(疫学を含む)	2後	2					1				1
	保健統計学	2前	2									1
	生物基礎	1前	2									2
	化学基礎	1前	2									3
II群(人体の構造と機能)	形態機能論I	1前	2				1					
	形態機能論II	1後	2				1					
	生化学(未開講)	1後	2	2								1
	栄養学(食品学を含む)	1後	2									2
	薬理学	2前	2				1					
	免疫・微生物学	1後	2				1					
	臨床病理病態学I(内科系)	2前	2				1					
	臨床病理病態学II(内科系)	2後	2				1					
	臨床病理病態学III(外科系)	2後	2				1					
	臨床病理病態学IV(周産期・小児科系)	2前	2						2			1
III群(疾病の成立及び回復の促進)	看護学概論	1前	2				1					
	看護理論	1後	1									1
	ヘルスアセスメント	2前	1				1	1	1			
	看護技術論I(生活援助技術)	1後	2				1	1	1			
	看護技術論II(診療補助技術)	2前	2				1	1	1			
	看護技術論III(看護過程)	2前	1				1	1	1			
	基礎看護学実習I	1後	1				1	1	1	1	5	
	基礎看護学実習II	2後	2				1	1	1	1	5	
	看護教育学	4前	1					1				
	看護倫理	2前	1					1				
看護管理学	3前	1									1	
IV群(基礎看護学)	成人看護学概論	2前	2				1	1				
	成人看護援助論I(急性期)	2後	2				1	1	5			
	成人看護援助論II(慢性期)	2後	2				1	1	5			
	成人看護学実習I	3後	3				1	1	5	1		
	成人看護学実習II	3後	3				1	1	5	1		
	老年看護学概論	2前	2					1				
	老年看護援助論	3前	2					1				1
	老年看護学実習I	3後	2					1				2
	老年看護学実習II	3後	2					1				2
	V群(成人・老年看護学)	母性看護学概論	2前	2				1				
母性看護援助論		3前	2				1		1			1
母性看護学実習		3後	2				1		1			1
小児看護学概論		2後	2					1				
小児看護援助論		3前	2					1		1		1
小児看護学実習		3後	2					1		1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
Ⅳ群(精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1							
	精神看護援助論	3前	2			1							
	精神看護学実習	3後	2			1					2		
	在宅看護概論	2後	2			1							
	在宅看護援助論	3前	2			1	1						
	在宅看護実習	4前	2			1	1			1			
	公衆衛生看護学概論	2後	2				1						
	健康教育論	3前	2				1						
	学校保健概論	2後	1					1					
	災害看護学	4前	1					1					
	(災害保健を含む)												
	基礎ゼミ	1前	2			10	5	9	3				
	看護研究Ⅰ	2前	2			10	5	9	2				
	(基礎編)												
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	5	9	3				
(応用編)													
リスクマネジメント論	3前	1					1						
国際看護学Ⅰ	2後	1					1						
国際看護学Ⅱ	3前	1		1			1						
看護の統合と実践実習	3後	2			6	5	8	2	5				
Ⅴ群(看護の統合と実践)	疫学	2前	2			1							
	公衆衛生看護学	3前	2				1						
	活動展開論	3前	2										
	健康相談活動の理論と実践	3前	2								1		
	産業保健論	3前	1				1						
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1				1			1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4				1			1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1				1						
	Ⅵ群(養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2					1				
		学校保健演習	3後	2					1				
		養護概説	2後	2					1				
	教職に関する科目	教職概論	1前	2								1	
		教育原理	1前	2								1	
		教育心理学	2後	2								1	
		教育制度論	1後	2								1	
教育課程論		2後	2								1		
(道徳、特別活動を含む)													
教育方法・技術論		2後	2								1		
生徒指導論		2前	2								1		
教育相談		1後	2								1		
(カウンセリングを含む)													
教職実践演習		4後	2					1					
(養護教諭)													
養護実習	4通	5					1						
(事前事後指導を含む)													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
Ⅳ群(精神・在宅・公衆衛生看護学)	精神看護学概論	2後	2			1						1	
	精神看護援助論	3前	2			1							
	精神看護学実習	3後	2			1						1	
	在宅看護概論	2後	2				1						
	在宅看護援助論	3前	2				1		1				
	在宅看護実習	4前	2				1		1				
	公衆衛生看護学概論	2後	2					1	1				
	健康教育論	2前	1					1					
	学校保健概論	2後	1						1				
	災害看護学	4前	1							1			
	基礎ゼミ	1前	2			8	3	10	1				
	看護研究Ⅰ	3前	2			10	3	12	1				
	看護研究Ⅱ	4通	2			10	3	12	1				
	リスクマネジメント論	3前	1						1				
	国際看護学Ⅰ	2前	1						1				
国際看護学Ⅱ	3後	1		1				1					
看護の統合と実践実習	3後	2			6	2	9	1					
Ⅴ群(看護の統合と実践)	疫学	3前	2			1							
	公衆衛生看護学	3前	2				1	1					
	活動展開論	3前	2										
	健康相談活動の理論と実践	3前	2									1	
	産業保健論	3前	1							1			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1						1	1			
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4						1	1			
	公衆衛生看護学特論	4後	1						1	1			
	Ⅵ群(養護教諭関連)	学校保健活動論	3前	2							1		
		学校保健演習	3後	2							1		
		養護概説	2後	2							1		
	教職に関する科目	教職概論	1前	2									1
		教育原理	1前	2									1
		教育心理学	2後	2									1
		教育制度論	1後	2									1
教育課程論		2後	2									1	
(道徳、特別活動を含む)													
教育方法・技術論		2後	2									1	
生徒指導論		2前	2									1	
教育相談		1後	2									1	
(カウンセリングを含む)													
教職実践演習		4後	2							1			
(養護教諭)													
養護実習	4通	5							1				
(事前事後指導を含む)													

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
建学の精神	宗教と人生	1後	2								1
	仏教と現代社会	1後	2								1
	兵庫大学の半びと和	1後	2								2
コミュニケーション	日本語(読解と表現)	1前	2								2
	英語	1前	2								3
	実用英語Ⅰ	1後	2								3
	実用英語Ⅱ	2前	2								1
	実用英語Ⅲ	2後	2								1
	中国語(初級)	1前	2								1
	中国語(中級)	1後	2								1
	韓国語(初級)	1前	2								2
	韓国語(中級)	1後	2								2
	コンピュータ演習	1前	2								3
コンピュータグラフィックスの基礎	1後	2								2	
国際理解	国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)	1前	2								1
	国際理解と宗教Ⅱ(イスラム教)	1後	2								1
	国際関係論	1後	2								1
	比較文化論	1後	2								1
歴史と文化	歴史学	1前	2								1
	文学	1前	2								1
	芸術	1後	2								1
	色彩とデザイン	1前	2								1
地域に学ぶ	地域文化論	1後	2								1
	建築デザインと地域	1後	2								1
	地域と文化財	1前	2								1
	地域資料を読む	1後	2								1
現代社会を読み解く	哲学	1後	2								1
	法と社会	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	人権の歴史	1前	2								1
	政治学	1前	2								1
	社会学	1前	2								1
	経済学	1前	2								1
	現代社会の理解	1前	2								1
自然と科学	生命倫理学	1後	2								1
	心理学	1前	2								1
	化学	1前	2								1
	生物学	1後	2								1
	身のまわりの科学	1前	2								2
くらしと健康	食と健康	1後	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)	1後	2								2
	健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)	1前	2								1
	健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)	1後	2								1
デキャリアリア	私のためのキャリア設計	1前	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I群(健康支援と社会保障制度)	社会福祉論	1後	2								1	
	人間関係論 (カウンセリング含む)	2前	2								1	
	家族関係論	1後	2								1	
	精神保健	1後	2								1	
	環境保健学	3前	2			1						
	保健医療福祉行政論	2後	2			1					1	
	公衆衛生学 (疫学を含む)	2後	2			1						
	保健統計学	2前	2								1	
	II群(人体の構造と機能)	生物基礎	1前	2								2
		化学基礎	1前	2								3
形態機能論Ⅰ		1前	2			1						
形態機能論Ⅱ		1後	2			1						
生化学		1後	2								1	
栄養学(食品学を含む)		1後	2								2	
薬理学		2前	2			1						
免疫・微生物学		1後	2			1						
III群(疾病の成立及び回復の機構)		臨床病理病態学Ⅰ (内科系)	2前	2			1					
		臨床病理病態学Ⅱ (内科系)	2後	2			1					
	臨床病理病態学Ⅲ (外科系)	2後	2			1						
	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系)	2前	2					1			1	
	IV群(基礎看護学)	看護学概論	1前	2			1					
看護理論		1後	1			1						
ヘルスアセスメント		2前	1			1	1	1			2	
看護技術論Ⅰ (生活援助技術)		1後	2			1	1	1			5	
看護技術論Ⅱ (診療補助技術)		2前	2			1	1	1			5	
看護技術論Ⅲ (看護過程)		2後	1			1	1	1			2	
基礎看護学実習Ⅰ		1後	1			1	1	1	1		7	
基礎看護学実習Ⅱ		2後	2			1	1	1	1		7	
看護教育学		4前	1			1						
看護倫理		4前	1				1					
看護管理学	3前	1			1							
V群(成人・老年看護学)	成人看護学概論	2前	2			1	1	1				
	成人看護援助論Ⅰ (急性期)	3前	2			1	1	4			1	
	成人看護援助論Ⅱ (慢性期)	3前	2			1		4			1	
	成人看護学実習Ⅰ	3後	3			1	1	4			1	
	成人看護学実習Ⅱ	3後	3			1	1	4			1	
	老年看護学概論	2前	2			1						
	老年看護援助論	3前	2			1			1			
	老年看護学実習Ⅰ	3後	2			1			1		2	
	老年看護学実習Ⅱ	3後	2			1			1		2	
	VI群(母性・小児看護学)	母性看護学概論	2前	2			1					
母性看護援助論		3前	2			1		2				
母性看護学実習		3後	2			1		2			1	
小児看護学概論		2後	2			1						
小児看護援助論		3前	2			1						
小児看護学実習	3後	2			1					1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
Ⅳ群 (精神・在宅・公衆衛生看護学) 専門実践科目	精神看護学概論	2後	2			1						1
	精神看護援助論	3前	2			1						
	精神看護学実習	3後	2			1					1	
	在宅看護概論	2後	2			1						
	在宅看護援助論	3前	2			2		1				
	在宅看護実習	4前	2			2		1			1	
	公衆衛生看護学概論	2後	2			1						
	健康教育論	3前	1			1						
	学校保健概論	2後	1					1				
	災害看護学	4前	1					1				
	Ⅴ群 (看護の統合と実践) 統合科目 専門教育科目	基礎ゼミ	1前	2			10	2	9	1		
看護研究Ⅰ		2前	2			13	2	10	1			
看護研究Ⅱ		4通	2			13	2	10	1			
リスクマネジメント論		3前	1					1				
国際看護学Ⅰ		2後	1					1				
国際看護学Ⅱ		3前	1					1				
看護の統合と実践実習		3後	2			6	2	8	1		5	
Ⅵ群 (保健師関連) 関連科目	疫学	2前	2			1						
	公衆衛生看護学 活動展開論	3前	2			1		1				
	健康相談活動の 理論と実践	3前	2									1
	産業保健論	3前	1					1				
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後	1			1		1				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ	4通	4			1		1				
	公衆衛生看護学特論	4後	1			1						
Ⅶ群 (養護教諭関連) 関連科目	学校保健活動論	3前	2					1				
	学校保健演習	3後	2					1				
	養護概説	2後	2					1				
教職に関する科目	教職概論	1前	2									1
	教育原理	1前	2									1
	教育心理学	2後	2									1
	教育制度論	1後	2									1
	教育課程論	2後	2									1
	(道徳、特別活動を含む) 教育方法・技術論	2後	2									1
	生徒指導論	2前	2									1
	教育相談	1後	2									1
	(カウンセリングを含む) 教職実践演習	4後	2					1				
	(養護教諭) 養護実習	4通	5					1				
	(事前事後指導を含む)											

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

《共通教育科目》

- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「兵庫大学の学びと和」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語(初級)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「韓国語(中級)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータ演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「コンピュータグラフィックスの基礎」を科目追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「国際理解と宗教Ⅰ(キリスト教)」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「文学」の兼任教員を変更。
- ・教育内容充実の理由により、「建築デザインと地域」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域と文化財」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「地域資料を讀む」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「身のまわりの科学」を科目追加。
- ・教育内容充実の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ(講義)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅱ(演習)」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅲ(演習)」の兼任教員を変更。

《専門教育科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「生物基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「化学基礎」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退、教育内容充実の理由により、「栄養学(食品学を含む)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
 - ・「ヘルスアセスメント」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅰ(生活援助技術)」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・関連する科目と連動して履修させるため、配当年次を以下のとおり変更
 - ・「免疫・微生物学」の配当年次を「2後」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「在宅看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授2」「講師1」に変更。
 - ・「在宅看習」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」「助手1」から「教授2」「講師1」「助手1」に変更。
- ・久井准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「健康教育論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「産業保健論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。(助手退職に伴う変更を含む)
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「講師」に変更。(助手退職に伴う変更を含む)
 - ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・瀧本茂子准教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「老年看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「助教1」に変更。
 - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授0」「助教1」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授0」「助教1」「助手2」に変更。
- ・小島賢子准教授退職の理由により、森田寛子教授が就任、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「小児看護学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「小児看護援助論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・「小児看護学実習」の専任教員等の配置を「准教授1」「助手1」から「教授1」「助手1」に変更。
- ・掛川静代助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護技術論Ⅰ(生活援助技術)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅱ(診療補助技術)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手2」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教0」「助手5」に変更。
 - ・「看護技術論Ⅲ(看護過程)」の専任教員等の配置の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・廣田真里助教の昇任の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。(掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む)
 - ・「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教3」「助手9」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」に変更。(掛川助教退職、助手辞退に伴う変更を含む)
 - ・「成人看護援助論Ⅰ(急性期)」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅱ(慢性期)」の専任教員等の配置を「教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
 - ・「成人看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師3」「助教1」「助手1」から「教授1」「准教授1」「講師4」「助教0」「助手1」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教2」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授5」「講師9」「助教3」から「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授5」「講師8」「助教2」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」に変更。
- ・科目名称表現方法統一の理由により、授業科目の名称を以下のとおり変更。
 - ・「公衆衛生学(疫学含)」→「公衆衛生学(疫学を含む)」
 - ・「看護技術論Ⅰ(生活技術援助)」→「看護技術論Ⅰ(生活援助技術)」
 - ・「看護技術論Ⅱ(診療技術援助)」→「看護技術論Ⅱ(診療補助技術)」
 - ・「成人看護援助論Ⅰ(生命危機状態にある人)」→「成人看護援助論Ⅰ(急性期)」
 - ・「成人看護援助論Ⅱ(常態の維持・増進が困難な人)」→「成人看護援助論Ⅱ(慢性期)」
 - ・「災害看護学(災害保健を含む)」→「災害看護学」
 - ・「看護研究Ⅰ(基礎編)」→「看護研究Ⅰ」
 - ・「看護研究Ⅱ(応用編)」→「看護研究Ⅱ」
- ・助手退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「精神看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」「助手2」から「教授1」「助手1」に変更。

《教職に関する科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「教育原理」の兼任教員を変更。

【平成30年度】

《共通教育科目》

- ・教育課程充実の理由により、「宗教と人生」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「兵大京都学」を追加。
- ・教育内容充実の理由により、「英語」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「実用英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（初級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・履修対象者減の理由により、「韓国語（中級）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「芸術」を削除。
- ・教育課程充実の理由により、「地域と文化財」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「現代社会の理解」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「プログラミング入門」の科目を追加。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康・スポーツ科学Ⅰ（講義）」の教員配置を「兼1」から「教授1」「兼1」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「入門ボランティア」を追加。

《専門教育科目》

- ・教育内容充実の理由により、「家族関係論」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の専任教員等の配置を「教授1」「講師1」から「教授1」「准教授1」「講師1」に変更。
- ・教員異動の理由により、「環境保健学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「臨床病理病態学Ⅳ（周産期・小児科系）」の専任教員等の配置を「講師1」「兼1」から「講師2」「兼1」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「成人看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師4」「助教1」から「教授1」「准教授1」「講師5」「助教1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神保健」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「保健医療福祉行政論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護理論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「看護倫理」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「精神看護学概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「健康相談活動の理論と実践」の兼任教員を変更。
- ・関連する教育内容を十分に理解させた上で履修させるため、配当年次を以下のとおり変更。
 - ・「看護技術論Ⅲ（看護過程）」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
 - ・「成人看護援助論Ⅱ（慢性期）」の配当年次を「3前」から「2後・3前」に変更。
 - ・「看護倫理」の配当年次を「4前」から「2前」に変更。
 - ・「健康教育論」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
 - ・「国際看護学Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
 - ・「国際看護学Ⅱ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
 - ・「疫学」の配当年次を「2前」から「3前」に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「看護管理学」の配当年次を「3前」から「4前」に変更。
- ・教育内容充実の理由により、「看護管理学」の兼任・兼任教員が0から1に変更。
- ・教育課程充実の理由により、「成人看護援助論Ⅰ（急性期）」の配当年次を「3前」から「2前」に変更。
- ・小野晴子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護管理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - ・「老年看護学概論」「老年看護援助論」「老年看護学実習Ⅰ」「老年看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を変更し、後任として肥後すみ子教授が就任。
- ・新田幸子教授定年退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「看護教育学」の専任教員等の配置を新田幸子教授から、肥後すみ子教授に変更。
 - ・「在宅看護学」の専任教員を新田幸子教授から高見千恵教授に変更。
 - ・「在宅看護援助論」の専任教員の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
 - ・「在宅看護実習」の専任教員の配置を「教授2」「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・福川京子教授退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「保健医療福祉行政論」の専任教員の配置を福川京子教授から尾崎八代准教授に変更。
 - ・「公衆衛生看護学概論」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学活動展開論」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「講師1」から「准教授1」「講師1」に変更。
 - ・「公衆衛生看護学特論」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」「講師1」に変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「学校保健概論」「学校保健活動論」「学校保健演習」「養護概論」「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」及び専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。
 - ・西原おかり助教退職の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
 - ・「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」「講師1」「助教1」「助手7」から「教授1」「准教授1」「講師1」「助教5」に変更。（助手辞退を含む）
 - ・「老年看護援助論」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」から「教授1」「助手1」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
 - ・「老年看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」「助教1」「助手2」から「教授1」「助手2」に変更。
- ・新規採用及び担当教員辞退の理由により、専任教員等の配置を以下のとおり変更。
 - ・「基礎ゼミ」の専任教員等の配置を「教授10」「准教授2」「講師9」「助教1」から「教授8」「准教授3」「講師10」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
 - ・「看護研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授13」「准教授2」「講師10」「助教1」から「教授10」「准教授3」「講師12」「助教1」に変更。
 - ・「看護の統合と実践実習」の専任教員等の配置を「教授6」「准教授2」「講師8」「助教1」「助手5」から「教授6」「准教授2」「講師9」「助教1」に変更。

《教職に関する科目》

- ・担当教員辞退の理由により、「教職概論」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「教育課程論（道徳・特別活動を含む）」の兼任教員を変更。
- ・担当教員辞退の理由により、「生徒指導論」の兼任教員を変更。
- ・柴田順子講師退職の理由により、「教職実践演習（養護教諭）」「養護実習（事前事後指導を含む）」の専任教員等の配置を変更し、後任として細川愛美講師が就任。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
60 科目	60 科目	0 科目	120 科目	60 科目 0	59 科目 [Δ 1]	0 科目 [0]	119 科目 [Δ 1]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	生化学	2	1	専門	選択	履修登録者なし 代替措置無
2	人間関係論 (カウンセリングを含む)	2	2	専門	選択	履修登録者なし 代替措置無
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	芸術	2	1	一般	選択	担当教員辞退による 代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 「生化学」「人間関係論（カウンセリングを含む）」について履修登録者がいないため、未開講とした。授業科目は選択科目であるため、学生の履修等への影響はない。 「芸術」は兼任講師辞退に伴い科目を廃止した。共通教育科目の科目区分である歴史と文化に属する選択科目であり、学生の履修等への影響はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。</p>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{120} = \boxed{2.5} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	兵庫大学短期大学部と 共用					
	校舎敷地	0 m ²	73,964m ²	m ²	0 m ²		73,964m ² m ²				
	運動場用地	0 m ²	9,600m ²	m ²	0 m ²		9,600m ² m ²				
	小 計	0 m ²	83,564m ²	m ²	0 m ²		83,564m ² m ²				
	そ の 他	0 m ²	9,715m ²	m ²	0 m ²		9,715m ² m ²				
	合 計	0 m ²	93,279m ²	m ²	0 m ²		93,279m ² m ²				
(2) 校 舎	専 用	1,795m ² 2,563m ²	27,297m ² 28,301m ²	共用する他の 学校等の専用	1,967m ²	31,059m ² 32,831m ²	兵庫大学短期大学部と 共用				
	(1,795m ²)	(27,297m ²)	(1,967m ²)	(31,059m ²)							
	(2,563m²)	(28,301m²)	(1,967m²)	(32,831m²)							
(3) 教 室 等	講 義 室	27室	演 習 室	26室	実験実習室	30室	情報処理学習施設	4室 (補助職員 3人)	語学学習施設	室 (補助職員 人)	
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			平成30年4月 専任教授1名、准教授1 名を新規採用のため (30)			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能の ため、大学全体の数 図書充実のため(30)			
	看護学部	54,283 [6,819] 53,557 [6,741] (54,283 [6,819]) (53,873 [6,754])	1,756 [256]	21 [18]	5,983 5,978 (5,972) (5,983)	5,808 (5,768)	230 (220)				
	計	54,283 [6,819] 53,557 [6,741] (54,283 [6,819]) (53,873 [6,754])	1,756 [256]	21 [18]	5,983 5,978 (5,972) (5,983)	5,808 (5,768)	230 (220)				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数							
	1,829m ²	270		151,200							
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要									
	2,286m ²	テ ニ ス コ ー ト 4 面 運 動 場									
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	480千円	480千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円			
		共同研究費等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,900千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、入学検定料、雑収入等									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称		兵庫 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 員 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
《AC対象学部等》 現代ビジネス学部									
現代ビジネス学科	4	120	3年次 2	484	学士 (現代ビジネス)	0.35	平成28年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	平成28年より学生募集停止
看護学部									
看護学科	4	90	-	360	学士 (看護学)	1.17	平成29年度		
《既設学部》									
経済情報学部									
経済情報学科	4	-	-	-	学士 (経済情報)	-	平成7年度		
健康科学部									
栄養マネジメント学科	4	80	3年次 20	360	学士 (栄養学)	0.64	平成13年度		
健康システム学科	4	40	-	160	学士 (健康科学)	0.94	平成13年度		
看護学科	4	-	-	-	学士 (看護学)	-	平成18年度		
生涯福祉学部									
社会福祉学科	4	30	-	120	学士 (社会福祉学)	0.78	平成20年度	平成29年より学生募集停止	
こども福祉学科	4	50	5	210	学士 (こども福祉)	0.81	平成25年度		
大学の名称		兵庫 大 学 短 期 大 学							備 考
既設学部等の名称	修業年限	入 学 員 定 員	編入学員 定 員	収 容 員 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保育科第一部	2	100	-	200	短期 大学士 (保育)	0.98	昭和32年度	兵庫県加古川市平岡町新在家2301番地	
保育科第三部	3	80	-	240	短期 大学士 (保育)	1.05	昭和46年度		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【平成31年度】			【平成32年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	教授	長尾 光城 (64) <平成29年4月> 公衆衛生学(疫学含) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)	専任	教授	長尾 光城 (65) <平成29年4月> 公衆衛生学(疫学を含む) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	専任	教授	長尾 光城 (66) <平成29年4月> 公衆衛生学(疫学含) 臨床病理病態学Ⅲ (外科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ						
専任	教授	小野 晴子 (69) <平成29年4月> 看護管理学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	教授	小野 晴子 (70) <平成29年4月> 看護管理学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習									
専任	教授	長尾 憲樹 (66) <平成29年4月> 環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)	専任	教授	長尾 憲樹 (67) <平成29年4月> 環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ	兼任	教授	長尾 憲樹 (68) <平成29年4月> 環境保健学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ						
専任	教授	新田 幸子 (64) <平成29年4月> 看護教育学 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	教授	新田 幸子 (65) <平成29年4月> 看護教育学 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習									
専任	教授	富安 俊子 (59) <平成29年4月> 母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	教授	富安 俊子 (60) <平成29年4月> 母性看護学概論 母性看護援助論 母性看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	教授	富安 俊子 (61) <平成29年4月> 母性看護学概論 母性看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						
専任	教授	加藤 知可子 (56) <平成29年4月> 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	教授	加藤 知可子 (57) <平成29年4月> 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	教授	加藤 知可子 (58) <平成29年4月> 精神看護学概論 精神看護援助論 精神看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						
専任	教授	石田 宜子 (55) <平成29年4月> 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	教授	石田 宜子 (56) <平成29年4月> 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 健康教育論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	教授	石田 宜子 (57) <平成29年4月> 看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 健康教育論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	教授	兒玉 拓 (50) <平成29年4月>	専任	教授	兒玉 拓 (51) <平成29年4月>	専任	教授	兒玉 拓 (52) <平成29年4月>						
		薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編)			薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			薬理学 免疫・微生物学 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ						
専任	教授	宮島 多映子 (47) <平成29年4月>	専任	教授	宮島 多映子 (48) <平成29年4月>	専任	教授	宮島 多映子 (49) <平成29年4月>						
		看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習			看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			看護学概論 看護理論 ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						
専任	教授	伊藤 純 (42) <平成29年4月>	専任	教授	伊藤 純 (43) <平成29年4月>	専任	教授	伊藤 純 (44) <平成29年4月>						
		形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 疫学			形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 疫学			形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 臨床病理病態学Ⅰ (内科系) 臨床病理病態学Ⅱ (内科系) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 疫学						
専任			専任	教授	森田 寛子 (55) <平成29年4月>	専任	教授	森田 寛子 (56) <平成29年4月>						
					小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						
			専任	教授	福川 京子 (53) <平成29年4月>									
					保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論									
			専任	教授	高見 千恵 (49) <平成29年4月>	専任	教授	高見 千恵 (50) <平成29年4月>						
					在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			家族関係論 在宅看護概論 在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ						
						専任	教授	肥後 すみ子 (65) <平成30年4月>						
								看護教育学 老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専任	准教授	小島 賢子 (60) <平成29年4月>	小児看護学概論 小児看護援助論 小児看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習												
専任	准教授	瀧本 茂子 (57) <平成29年4月>	老年看護学概論 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習												
専任	准教授	白神 佐知子 (54) <平成29年4月>	看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	准教授	白神 佐知子 (55) <平成29年4月>	看護倫理 成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	准教授	白神 佐知子 (56) <平成29年4月>	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
専任	准教授	久井 志保 (51) <平成29年4月>	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 健康教育論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論												
専任	准教授	大植 由佳 (49) <平成29年4月>	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大植 由佳 (50) <平成29年4月>	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	専任	准教授	大植 由佳 (51) <平成29年4月>	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
								専任	准教授	尾崎 八代 (63) <平成30年4月>	保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 公衆衛生看護学活動展開論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論				
専任	講師	柴田 順子 (63) <平成29年4月>	学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 学校保健活動論 学校保健演習 養護概説 教職実践演習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)	専任	講師	柴田 順子 (64) <平成29年4月>	学校保健概論 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 学校保健活動論 学校保健演習 養護概説 教職実践演習 (養護教諭) 養護実習 (事前事後指導を含む)	兼任	講師	柴田 順子 (65) <平成29年4月>	健康相談活動の理論と実践				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	講師	天本 都 (62) <平成29年4月>	天本 都 (63) <平成29年4月>	天本 都 (64) <平成29年4月>			
		母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	講師	塩 霧都恵 (61) <平成29年4月>	塩 霧都恵 (62) <平成29年4月>	塩 霧都恵 (63) <平成29年4月>			
		成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (病態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ リスクマネジメント論 看護の統合と実践実習			
専任	講師	東 久子 (55) <平成29年4月>	東 久子 (56) <平成29年4月>	東 久子 (57) <平成29年4月>			
		在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	在宅看護援助論 在宅看護実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	在宅看護援助論 在宅看護実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			
専任	講師	西山 忠博 (51) <平成29年4月>	西山 忠博 (52) <平成29年4月>	西山 忠博 (53) <平成29年4月>			
		ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活援助技術) 看護技術論Ⅱ (診療補助技術) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	講師	中村 朋子 (51) <平成29年4月>	中村 朋子 (52) <平成29年4月>	中村 朋子 (53) <平成29年4月>			
		臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	臨床病理病態学Ⅳ (周産期・小児科系) 母性看護援助論 母性看護学実習 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	講師	大塚 千秋 (50) <平成29年4月>	大塚 千秋 (51) <平成29年4月>	大塚 千秋 (52) <平成29年4月>			
		成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (病態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	講師	和田 知世 (47) <平成29年4月>	和田 知世 (48) <平成29年4月>	和田 知世 (49) <平成29年4月>			
		成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (病態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	成人看護学概論 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習	成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	講師	大橋 崇 (39) <平成29年4月> 災害看護学 (災害保健学を含む)	大橋 崇 (40) <平成29年4月> 災害看護学	大橋 崇 (41) <平成29年4月> 災害看護学 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期)			
専任	講師	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習	基礎ゼミ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	助教	西原 かおり (53) <平成29年4月> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習	西原 かおり (54) <平成29年4月> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護援助論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習				
			石井 久仁子 (54) <平成29年4月> 専任 講師 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ	石井 久仁子 (55) <平成30年4月> 専任 講師 公衆衛生看護学概論 基礎ゼミ 公衆衛生看護学活動展開論 産業保健論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護学特論			
				細川 愛美 (61) <平成30年4月> 専任 講師 学校保健概論 学校保健活動論 学校保健演習 養護概論 救急実践演習(救護概論) 養護実習 (事前事後指導を含む)			
				小島 光華 (49) <平成29年4月> 専任 講師 基礎ゼミ 小児看護援助論 小児看護学実習 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ 看護の統合と実践実習			
専任	助教	掛川 静代 (34) <平成29年4月> ヘルスアセスメント 看護技術論Ⅰ (生活技術援助) 看護技術論Ⅱ (診療技術援助) 看護技術論Ⅲ (看護過程) 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ(基礎編) 看護研究Ⅱ(応用編) 看護の統合と実践実習					
専任	助教	廣田 真里 (32) <平成29年4月> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ (生命危機状態にある人) 成人看護援助論Ⅱ (常態の維持・増進が困難な人) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅱ(応用編)	廣田 真里 (33) <平成29年4月> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅱ	廣田 真里 (34) <平成29年4月> 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護援助論Ⅰ (急性期) 成人看護援助論Ⅱ (慢性期) 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 基礎ゼミ 看護研究Ⅰ 看護研究Ⅱ			

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼担	教授	竹内 一夫 (71) <平成29年4月>	社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論
兼担	教授	真鍋 祐之 (63) <平成29年4月>	栄養学 (食品学を含む)
兼担	教授	大平 曜子 (60) <平成29年4月>	健康相談活動の 理論と実践 教育心理学
兼担	教授	三宅 一郎 (59) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学 I (講義) 健康・スポーツ科学 II (演習) 健康・スポーツ科学 III (演習)
兼担	教授	吉原 恵子 (59) <平成29年4月>	社会学
兼担	教授	堀池 聡 (58) <平成29年4月>	コンピュータ演習
兼担	教授	河野 真 (55) <平成30年4月>	保健医療福祉行政論
兼担	教授	金子 哲 (54) <平成29年4月>	歴史学 地域文化論
兼担	教授	古田 薫 (54) <平成29年4月>	教育原理 教育制度論
兼担	教授	稲富 恭 (51) <平成29年4月>	色彩とデザイン
兼担	教授	石原 敬子 (50) <平成29年4月>	経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼担	教授	竹内 一夫 (72) <平成29年4月>	社会福祉論 人間関係論 (カウンセリング含む) 家族関係論
兼担	教授	大平 曜子 (61) <平成29年4月>	健康相談活動の 理論と実践 教育心理学
兼任	教授	三宅 一郎 (60) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学 I (講義)
兼担	教授	吉原 恵子 (60) <平成29年4月>	社会学
兼担	教授	堀池 聡 (59) <平成29年4月>	コンピュータ演習
兼担	教授	河野 真 (56) <平成30年4月>	保健医療福祉行政論
兼担	教授	金子 哲 (55) <平成29年4月>	歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む
兼担	教授	古田 薫 (55) <平成29年4月>	教育制度論
兼担	教授	稲富 恭 (52) <平成29年4月>	色彩とデザイン コンピュータグラフィックス の基礎 建築デザインと地域
兼担	教授	石原 敬子 (51) <平成29年4月>	経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専任	助教	寛野 貴子 (52) <平成30年4月>	基礎ゼミ 成人看護援助論 I (急性期) 成人看護援助論 II (慢性期) 成人看護学実習 I 成人看護学実習 II
兼担	教授	大平 曜子 (62) <平成29年4月>	教育心理学
兼任	教授	三宅 一郎 (61) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学 I (講義)
兼担	教授	吉原 恵子 (61) <平成29年4月>	社会学
兼任	教授	和田 光徳 (58) <平成30年4月>	保健医療福祉行政論
兼担	教授	堀池 聡 (60) <平成29年4月>	コンピュータ演習
兼担	教授	金子 哲 (56) <平成29年4月>	歴史学 地域文化論 地域と文化財 地域資料を読む 現代社会の理解 ボランティア入門
兼担	教授	古田 薫 (56) <平成29年4月>	敬職概論 教育制度論 教育課程論 (道徳・特別活動を含む)
兼担	教授	稲富 恭 (53) <平成29年4月>	色彩とデザイン コンピュータグラフィックス の基礎 建築デザインと地域 ボランティア入門
兼担	教授	石原 敬子 (52) <平成29年4月>	経済学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	李 良姫 (49) <平成29年4月>	韓国語 (初級) 韓国語 (中級)
兼任	教授	北島 律之 (47) <平成29年4月>	心理学
兼任	准教授	齋藤 正寿 (54) <平成29年4月>	国際関係論 政治学
兼任	准教授	原 志津 (52) <平成29年4月>	教育相談 (カウンセリングを含む)
兼任	准教授	西田 悦雄 (50) <平成29年4月>	コンピュータ演習
兼任	准教授	佐藤 隆 (50) <平成29年4月>	生物学
兼任	准教授	本多 彩 (38) <平成29年4月>	宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	李 良姫 (50) <平成29年4月>	韓国語 (初級) 韓国語 (中級)
兼任	教授	北島 律之 (48) <平成29年4月>	心理学 兵庫大学の学びと和
兼任	教授	細川 教三 (62) <平成29年4月>	栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	笹平 康弘 (60) <平成29年4月>	実用英語 I
兼任	准教授	齋藤 正寿 (55) <平成29年4月>	国際関係論 政治学
兼任	准教授	原 志津 (53) <平成29年4月>	教育相談 (カウンセリングを含む)
兼任	准教授	佐藤 隆 (51) <平成29年4月>	生物学
兼任	准教授	本多 彩 (39) <平成29年4月>	宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論 兵庫大学の学びと和
兼任	准教授	岡本 洋之 (56) <平成29年4月>	教育原理
兼任	准教授	榎本 つぐみ (49) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学II (演習) 健康・スポーツ科学III (演習)
兼任	准教授	矢野 琢也 (48) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学 I (講義)
兼任	准教授	種積 隆広 (47) <平成29年4月>	コンピュータ演習 身のまわりの科学
兼任	准教授	佐竹 邦子 (47) <平成29年4月>	コンピュータ演習 コンピュータグラフィックス の基礎
兼任	准教授	沖野 光二 (47) <平成29年4月>	現代社会の理解
兼任	准教授	河野 裕 (46) <平成29年4月>	コンピュータ演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	教授	李 良姫 (51) <平成29年4月>	韓国語 (初級) 韓国語 (中級)
兼任	教授	北島 律之 (49) <平成29年4月>	心理学 兵庫大学の学びと和
兼任	教授	細川 教三 (63) <平成29年4月>	栄養学 (食品学を含む)
兼任	教授	笹平 康弘 (61) <平成29年4月>	実用英語 I 実用英語 II
兼任	准教授	齋藤 正寿 (56) <平成29年4月>	国際関係論 政治学
兼任	准教授	原 志津 (54) <平成29年4月>	教育相談 (カウンセリングを含む)
兼任	准教授	佐藤 隆 (52) <平成29年4月>	生物学
兼任	准教授	本多 彩 (40) <平成29年4月>	宗教と人生 仏教と現代社会 比較文化論 兵庫大学の学びと和 兵大京都学
兼任	准教授	岡本 洋之 (57) <平成29年4月>	教育原理
兼任	准教授	榎本 つぐみ (50) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学II (演習) 健康・スポーツ科学III (演習)
兼任	准教授	矢野 琢也 (49) <平成29年4月>	健康・スポーツ科学 I (講義)
兼任	准教授	種積 隆広 (48) <平成29年4月>	コンピュータ演習 身のまわりの科学 プログラミング入門
兼任	准教授	佐竹 邦子 (48) <平成29年4月>	コンピュータ演習 コンピュータグラフィックス の基礎 保健統計学
兼任	准教授	沖野 光二 (48) <平成29年4月>	現代社会の理解
兼任	准教授	河野 裕 (47) <平成29年4月>	コンピュータ演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	平本 幸治 (55) <平成29年4月>				
		英語				
兼任	講師	嶋津 裕子 (55) <平成29年4月>	嶋津 裕子 (56) <平成29年4月>	嶋津 裕子 (57) <平成29年4月>		
		食と健康	食と健康	食と健康		
兼任	講師	湯瀬 晶文 (46) <平成29年4月>	湯瀬 晶文 (47) <平成29年4月>	湯瀬 晶文 (48) <平成29年4月>		
		保健統計学	保健統計学	保健統計学		
			身のまわりの科学	身のまわりの科学		
			栄養学 (食品学を含む)	栄養学 (食品学を含む)		
兼任	講師	大藤 隆彦 (70) <平成29年4月>	大藤 隆彦 (71) <平成29年4月>			
		化学基礎	化学基礎			
兼任	講師	砂子 滋美 (69) <平成29年4月>	砂子 滋美 (70) <平成29年4月>			
		教職概論	教職概論			
兼任	講師	新井野 久男 (68) <平成30年4月>	新井野 久男 (69) <平成30年4月>			
		教育課程論 (道徳・特別活動を含む) 生徒指導論	教育課程論 (道徳・特別活動を含む) 生徒指導論			
兼任	講師	田中 貞之 (69) <平成29年4月>				
		生物基礎				
兼任	講師	田村 淳 (69) <平成29年4月>				
		生物基礎				
兼任	講師	岩見 健二 (68) <平成29年4月>	岩見 健二 (69) <平成29年4月>			
		芸術	芸術			
兼任	講師	立谷 正樹 (67) <平成29年4月>	立谷 正樹 (68) <平成29年4月>	立谷 正樹 (69) <平成29年4月>		
		化学基礎	生物基礎 化学基礎	生物基礎 化学基礎		
兼任	講師	谷口 武 (65) <平成29年4月>	谷口 武 (66) <平成29年4月>	谷口 武 (67) <平成29年4月>		
		化学基礎	化学基礎	化学基礎		
兼任	講師	笹田 哲男 (64) <平成29年4月>	笹田 哲男 (65) <平成29年4月>	笹田 哲男 (66) <平成29年4月>		
		日本国憲法	日本国憲法	日本国憲法		
兼任	講師	三上 嘉代子 (63) <平成29年4月>	三上 嘉代子 (64) <平成29年4月>	三上 嘉代子 (65) <平成29年4月>		
		私のためのキャリア設計	私のためのキャリア設計	私のためのキャリア設計		
兼任	講師	阿部 真幸 (62) <平成29年4月>	阿部 真幸 (63) <平成29年4月>	阿部 真幸 (64) <平成29年4月>		
		化学	化学	化学		
兼任	講師	修 暁寧 (61) <平成29年4月>	修 暁寧 (62) <平成29年4月>	修 暁寧 (63) <平成29年4月>		
		中国語(初級) 中国語(中級)	中国語(初級) 中国語(中級)	中国語(初級) 中国語(中級)		
兼任	講師	片山 俊郎 (61) <平成29年4月>	片山 俊郎 (62) <平成29年4月>			
		生化学	生化学			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	米谷 昌彦 (59) <平成30年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)	兼任	講師	米谷 昌彦 (60) <平成30年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)	兼任	講師	米谷 昌彦 (61) <平成30年4月>	臨床病理病態学IV (周産期・小児科系)				
兼任	講師	南川 博康 (56) <平成29年4月>	精神保健 精神看護学概論	兼任	講師	南川 博康 (57) <平成29年4月>	精神保健 精神看護学概論								
兼任	講師	吉永 潤 (56) <平成30年4月>	教育方法・技術論	兼任	講師	吉永 潤 (57) <平成30年4月>	教育方法・技術論	兼任	講師	吉永 潤 (58) <平成30年4月>	教育方法・技術論				
兼任	講師	安井 重雄 (54) <平成29年4月>	文学												
兼任	講師	野田 直恵 (54) <平成29年4月>	日本語(読解と表現)	兼任	講師	野田 直恵 (55) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 文学	兼任	講師	野田 直恵 (56) <平成29年4月>	日本語(読解と表現) 文学				
兼任	講師	三浦 摩美 (52) <平成29年4月>	哲学	兼任	講師	三浦 摩美 (53) <平成29年4月>	哲学	兼任	講師	三浦 摩美 (54) <平成29年4月>	哲学				
兼任	講師	根川 幸男 (53) <平成29年4月>	国際理解と宗教I (キリスト教)												
兼任	講師	重親 知左子 (49) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教)	兼任	講師	重親 知左子 (50) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教)	兼任	講師	重親 知左子 (51) <平成29年4月>	国際理解と宗教II (イスラム教)				
兼任	講師	辻本 恭子 (46) <平成29年4月>	日本語(読解と表現)	兼任	講師	辻本 恭子 (47) <平成29年4月>	日本語(読解と表現)	兼任	講師	辻本 恭子 (48) <平成29年4月>	日本語(読解と表現)				
兼任	講師	豊福 一 (38) <平成29年4月>	法と社会	兼任	講師	豊福 一 (39) <平成29年4月>	法と社会	兼任	講師	豊福 一 (40) <平成29年4月>	法と社会				
兼任	講師	岩本 智依 (37) <平成29年4月>	人権の歴史	兼任	講師	岩本 智依 (38) <平成29年4月>	人権の歴史	兼任	講師	岩本 智依 (39) <平成29年4月>	人権の歴史				
兼任	講師	松盛 美紀子 (38) <平成29年4月>	実用英語I 実用英語II 実用英語III	兼任	講師	松盛 美紀子 (39) <平成29年4月>	実用英語I 実用英語II 実用英語III	兼任	講師	松盛 美紀子 (40) <平成29年4月>	英語 実用英語I 実用英語II 実用英語III				
兼任	講師	本多 真 (36) <平成29年4月>	生命倫理学	兼任	講師	本多 真 (37) <平成29年4月>	生命倫理学	兼任	講師	本多 真 (38) <平成29年4月>	生命倫理学				
				兼任	講師	市村 豊 (70) <平成29年4月>	生物基礎	兼任	講師	市村 豊 (71) <平成29年4月>	生物基礎				
				兼任	講師	廣間 準一 (67) <平成29年4月>	英語	兼任	講師	廣間 準一 (68) <平成29年4月>	英語				
				兼任	講師	天野 智博 (62) <平成29年4月>	化学基礎	兼任	講師	天野 智博 (63) <平成29年4月>	化学基礎				
				兼任	講師	Michael H. Fox (60) <平成29年4月>	英語 実用英語I	兼任	講師	Michael H. Fox (61) <平成29年4月>	英語 実用英語I 実用英語II				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	野世 美水 (59) <平成29年4月> 国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)									
			兼任	講師	野世 美水 (60) <平成29年4月> 国際理解と宗教Ⅰ (キリスト教)									
			兼任	講師	野嶋 一恵 (55) <平成29年4月> 英語									
			兼任	講師	野嶋 一恵 (56) <平成29年4月> 英語									
			兼任	講師	高 秀美 (42) <平成29年4月> 韓国語(初級) 韓国語(中級)									
			兼任	講師	高 秀美 (43) <平成29年4月> 韓国語(初級) 韓国語(中級)									
			兼任	講師	柳井 由美 (38) <平成30年10月> 精神保健 精神看護学概論									
			兼任	講師	中森 えり (62) <平成30年4月> 看護理論 看護管理学									
			兼任	講師	榎津 隆男 (66) <平成30年4月> 生徒指導論									

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

小島賢子准教授辞任のため森田寛子教授に変更。
瀧本茂子准教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
久井志保准教授辞任のため、福川京子教授に変更。
掛川静代助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
在宅看護分野の充実のため、高見千恵教授を採用。

【平成30年度】

福川京子教授辞任のため、尾崎八代准教授に変更。
小野晴子教授教授辞任のため、肥後すみ子教授に変更。
新田幸子教授辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
柴田順子講師辞任のため、細川愛美講師に変更。
西原かおり助教辞任。担当科目を他に担当できる教員がいるため補充しない。
小児看護学分野として、小島光華講師を採用。
長尾憲樹教授が看護学部看護学科から健康科学部健康システム学科に異動。専任から兼任に変更。
瀧野貴子助手が助教に昇任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
10	5	9	3	27	10	3	12	1	26	10	3	12	1	26
(10)	(5)	(9)	(3)	(27)						[0]	[Δ2]	[3]	[Δ2]	[Δ1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67 歳	0 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = \boxed{96.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	小島 賢子	必修	小児看護学概論	①	他大学への転出希望のため依願退職（29）
			必修	小児看護学援助論	①	
			必修	小児看護学実習	①	
			必修	基礎ゼミ	①	
			必修	看護研究Ⅰ	①	
			必修	看護研究Ⅱ	①	
			必修	看護の統合と実践実習	①	
2	准教授	瀧本 茂子	必修	老年看護学概論	①	体調不良による依願退職（29）
			必修	老年看護学援助論	①	
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①	
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①	
			必修	基礎ゼミ	①	
			必修	看護研究Ⅰ	①	
			必修	看護研究Ⅱ	①	
3	准教授	久井 志保	必修	保健福祉行政論	①	休職期間満了に伴う依願退職（29）
			必修	公衆衛生看護学概論	①	
			必修	健康教育論	①	
			必修	基礎ゼミ	①	
			必修	看護研究	①	
			必修	看護研究Ⅰ	①	
			必修	看護研究Ⅱ	①	
			必修	看護の統合と実践実習	①	
			選択	公衆衛生看護学活動展開論	①	
			選択	産業保健論	①	
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①	
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①	
			選択	公衆衛生看護学特論	①	

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
4	助教	掛川 静代	必修	ヘルスアセスメント	①	家庭の事情による依願退職 (29)			
			必修	看護技術論Ⅰ (生活技術援助)	①				
			必修	看護技術論Ⅱ (診療技術援助)	①				
			必修	看護技術論Ⅲ (看護過程)	①				
			必修	基礎看護学実習Ⅰ	①				
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
5	教授	福川 京子	必修	保健医療福祉行政論	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)			
			必修	公衆衛生看護学概論	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
			必修	看護の統合と実践実習	①				
			選択	公衆衛生看護学 活動展開論	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅰ	①				
			選択	公衆衛生看護学実習Ⅱ	①				
			選択	公衆衛生看護学特論	①				
6	講師	柴田 順子	必修	学校保健概論	①	家庭の事情による依願退職 (30)			
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
			選択	学校保健活動論	①				
			選択	学校保健演習	①				
			選択	養護概説	①				
			選択	教職実践演習 (養護教諭)	①				
7	助教	西原 かおり	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	他大学への転出希望のため依願退職 (30)			
			必修	基礎看護学実習Ⅱ	①				
			必修	老年看護援助論	①				
			必修	老年看護学実習Ⅰ	①				
			必修	老年看護学実習Ⅱ	①				
			必修	基礎ゼミ	①				
			必修	看護研究Ⅰ	①				
			必修	看護研究Ⅱ	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
7	人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	9 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	37 科目	計	37 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
7 人	必修	28 科目	必修	28 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	9 科目	選択	9 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	37 科目	計	37 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{7}{27} = \boxed{25.92} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	小野 晴子	必修	看護管理学	②	H30. 3. 31付け定年退職 (30)		
			必修	老年看護学概論	①			
			必修	老年看護学援助論	①			
			必修	老年看護学実習 I	①			
			必修	老年看護学実習 II	①			
			必修	基礎ゼミ	①			
			必修	看護研究 I	①			
			必修	看護研究 II	①			
2	教授	新田 幸子	必修	看護教育学	①	H30. 3. 31付け定年退職 (30)		
			必修	在宅看護概論	①			
			必修	在宅看護援助論	①			
			必修	在宅看護実習	①			
			必修	基礎ゼミ	①			
			必修	看護研究 I	①			
			必修	看護研究 II	①			
			必修	看護の統合と実践実習	①			
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	17 科目	必修	16 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	17 科目	計	16 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <p>〔平成29年5月報告〕 小島賢子准教授、久井志保准教授は同分野の教授職が就任した。瀧本茂子准教授、掛川静代助教は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。</p> <p>〔平成30年5月報告〕 福川京子教授の後任として、尾崎八代准教授を平成30年4月1日付で採用した。 小野晴子教授の後任として、肥後すみ子教授を平成30年4月1日付で採用した。 新田幸子教授の担当科目は、同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。 柴田順子講師の後任として細川愛美講師を平成30年4月1日付で採用した。 西原かおり助教の担当科目は同分野の科目を複数教員で担当するため、授業運営及び学生の履修等に影響はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生に対しては、学期開始時期に実施するオリエンテーション期間内において説明を行った。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
<p>設 置 時 (平成28年7月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7倍未満と なっていることから、 学生の確保に努めると ともに、入学定員の 見直しについて検討 すること。</p>	<p>昨年度は教員と事務職員による 高校訪問の実施に加え、出前授 業（アカデミックレクチャー） を新規で実施した。さらに学科 主催の高校生向けイベントであ る「第2回ビジネスプラン・コ ンペ」を実施するなど、募集活 動及び学科の周知活動を展開 し、志願者の増加（昨年度の 1.39倍）にはつながったが、学 生確保には至らなかった。</p> <p>今年度は、附属校及び出願・入 学実績のある重点校への営業訪 問や出前授業（アカデミックレ クチャー）を積極的に実施し、 学科の教育内容や特色などに ついて高校生等を中心に魅力を 伝えていく。また、高校や塾、予 備校などとの関係親密化を図る とともに、オープンキャンパス の改善を図り、学生確保に努め る。（29）</p>	<p>昨年度の学生募集については、 学科の教育内容の理解促進や魅 力発信をさらに強化するため、 オープンキャンパスのコンセプ ト設定及び模擬授業等の見直 し、オープンキャンパス以外で の学科プレゼンスを向上させる ための高校生対象の各種セミ ナーの実施、公式サイトや受験 生応援サイト、SNSを活用した 発信、各種制作物の見直しなど を実施した。</p> <p>また、学科教員による高校訪問 を強化し、109校（前年50校） 実施した。出前授業（アカデ ミックレクチャー等）について は、前年並みの19件（前年21 件）を実施した。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の 1.38倍）、入学者の増加（昨年 の1.44倍）を見たが、留意事項 を改善できるような学生数は確 保できなかった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の 早期化を念頭に置きながら活動 を行うとともに、昨年度の活動 を基本にさらに内容を充実さ せ、附属校や出願・入学実績の ある重点校及び本学科の専門と 類似する専門学科、普通科の類 型・コースを有する高校へ募集 活動を積極的に実施していく。 (30)</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)</p>	<p>現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率が0.7倍未満と なっていることから、 学生の確保に努めると ともに、入学定員の 見直しについて検討 すること。</p>	<p>昨年度の学生募集については、 学科の教育内容の理解促進や魅 力発信をさらに強化するため、 オープンキャンパスのコンセプ ト設定及び模擬授業等の見直 し、オープンキャンパス以外で の学科プレゼンスを向上させる ための高校生対象の各種セミ ナーの実施、公式サイトや受験 生応援サイト、SNSを活用した 発信、各種制作物の見直しなど を実施した。</p> <p>また、学科教員による高校訪問 を強化し、109校（前年50校） 実施した。出前授業（アカデ ミックレクチャー等）について は、前年並みの19件（前年21 件）を実施した。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の 1.38倍）、入学者の増加（昨年 の1.44倍）を見たが、留意事項 を改善できるような学生数は確 保できなかった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の 早期化を念頭に置きながら活動 を行うとともに、昨年度の活動 を基本にさらに内容を充実さ せ、附属校や出願・入学実績の ある重点校及び本学科の専門と 類似する専門学科、普通科の類 型・コースを有する高校へ募集 活動を積極的に実施していく。 現代ビジネス学科については、 平成30年の入試結果は前年度よ り改善されたが、なお、定員未 充足の状態は続いているので、 定員の見直し策等の検討に着手 する。（30）</p>	<p>未 履 行</p>

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	<p>同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部栄養マネジメント学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>昨年度の学生募集については、学科の教育内容の理解促進や魅力発信をさらに強化するため、オープンキャンパスのコンセプト設定及び模擬授業等の見直し、オープンキャンパス以外での学科プレゼンスを向上させるための高校生対象の各種セミナーの実施、公式サイトや受験生応援サイトを活用した発信、各種制作物の見直しなどを実施した。</p> <p>また、高校で行われる進学説明会へ学科教員が積極的に参加し、14校（前年0校）で直接高校生（低学年も含む）と接触する機会をつくった。</p> <p>結果、志願者の増加（昨年の1.13倍）、入学者の増加（昨年の1.23倍）を見たが、留意事項を改善できるような学生数は確保できなかった。</p> <p>今年度は、高校生の進路決定の早期化を念頭に置きながら活動を行うとともに、さらに入学者を増加させるべく、昨年度の活動を基本にさらに内容を充実させ、学科教員による高校訪問も実施するなど、附属校や出願・入学実績のある重点校への募集活動を積極的に実施していく。</p> <p>なお、編入学生については20人から5人に定員減少を行う。</p> <p>(30)</p>	

改善意見

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SD推進委員会規程(別紙1)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

第1回	平成29年5月1日(月)	出席12名
第2回	平成29年5月29日(月)	出席12名
第3回	平成29年6月29日(月)	出席12名
第4回	平成29年7月24日(月)	出席14名
第5回	平成29年9月13日(水)	出席12名
第6回	平成29年11月13日(月)	出席13名
第7回	平成29年12月18日(月)	出席14名
第8回	平成30年1月23日(火)	出席13名
第9回	平成30年3月20日(火)	出席10名

c 委員会の審議事項等

- 第1回
- (1) FD・SD推進委員会委員について
 - (2) FD・SD推進委員会の事務担当部署について
 - (3) 平成29年度FD・SD活動事業計画(案)について

第2回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について

- ① 新任教職員研修、初年次教育の実施状況把握
- ② 学修成果(教育評価)の把握に関する検討
- ③ 授業公開
- ④ ALに関する研修会
- ⑤ 教職員カフェ
- ⑥ FD・SDニュースレターの発行

- (2) 授業評価アンケートの実施について

- 第3回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 新任教職員研修
 - ② 初年次教育の実施状況把握
 - ③ 学修成果（教育評価）の把握に関する検討
 - ④ 授業公開
 - ⑤ ALに関する研修会
 - ⑥ 教職員カフェ
 - ⑦ FD・SDニュースレターの発行
- (2) ふりかえりシートについて
- 第4回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 初年次教育の実施状況把握
 - ② 授業公開
 - ③ ALに関する研修会及び教職員カフェ
- (2) 授業評価アンケートの実施について
- 第5回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 授業公開
 - ② ALに関する研修会
 - ③ 教職員カフェ
 - ④ FD・SDニュースレターの発行
- 第6回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 授業公開
 - ② ALに関する研修会
 - ③ 教職員カフェ
 - ④ FD・SDニュースレターの発行
- (2) 次年度計画及び予算について
- 第7回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 新任教職員研修
 - ② 初年次教育
 - ③ 授業公開
 - ④ ALに関する研修会
 - ⑤ 教職員カフェ
 - ⑥ FD・SDニュースレター
- (2) 第2回FD・SD研修会について
- (3) 平成29年度Ⅱ期 授業アンケートについて
- 第8回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① ALに関する研修会
 - ② 教職員カフェ
 - ③ FD・SDニュースレター
- (2) 平成30年度FD・SD活動事業計画（案）について
- (3) 「授業評価アンケート実施と活用」ワーキンググループ設置について
- 第9回 (1) 平成29年度FD・SD活動事業計画の進捗状況について
- ① 新任教職員研修

②ALに関する研修会

③FD・SDニュースレター

(2) 「授業評価アンケートの実施と活用」について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教職員研修
- ・ 初年次教育の実施状況把握
- ・ 授業公開
- ・ ALに関する研修会（アクティブ・ラーニングに関する研修会）
- ・ 教職員カフェ（ワークショップ形式及びフリーディスカッション形式で行う情報交換）
- ・ FD・SDニュースレターの発行
- ・ FD・SD研修会

b 実施方法

- ・ 新任教職員研修
年度初めに新任教職員対象に「新任教職員研修プログラム」を実施
- ・ 初年次教育の実施状況把握
初年次教育を改善するために、各学科にて実施されている初年次教育の内容を調査し、学科相互で比較可能にした。また、そのデータをもとに学科間の認識共有、情報交換を実施
- ・ 授業公開
I期・II期ともに、全学科において公開科目を設定し、公開期間内において教職員による授業参観を実施
教職員は最低1回の授業参観を行うこととして実施。参観後は、参観シートを記入の上、授業公開者へフィードバックを行った。また、授業公開者においても授業公開実施報告書の作成・提出を依頼した。
- ・ ALに関する研修会
テーマを設定し、全教職員に対し周知を行い、全3回実施した。
- ・ 教職員カフェ
ALに関する研修会に合わせて、研修会の前後に実施した。
- ・ FD・SDニュースレターの発行
「兵庫大学・兵庫大学短期大学部FD・SDニュースレター」を年2回発行し、全教職員に配付した。
- ・ FD・SD研修会
4月と12月に全教職員対象の講演会を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 新任教職員研修
(教育分野) 平成29年4月2日(日)開催 対象者22人、参加者18人(参加率81.8%)
(研究分野及び地域連携関連) 平成29年4月3日(月)開催 対象者22人、参加者19人(参加率86.4%)
- ・ 初年次教育の実施状況把握
各学科に対し、初年次教育の状況について調査票による調査(平成29年7月14日締切)
調査結果を第4回FD・SD推進委員会において報告
11月1日に教職員カフェを開催し、学科間の認識共有と情報交換を実施した。
参加者64人
- ・ 授業公開
I期:平成29年6月22日(木)～7月12日(水)
公開科目数177科目 授業参観延べ人数 60人(専任教員45人、専任職員13人、兼任教育職員2人)
II期:平成29年10月23日(月)～11月24日(金)
公開科目数157科目 授業参観延べ人数 105人(専任教員65人、専任職員38人、兼任教育職員2人)

- ・ ALに関する研修会
 - 第1回 平成29年6月7日（水）「学修成果の評価方法について～学修ポートフォリオとルーブリック～」
参加者72人（教員64人、職員8人）
 - 第2回 平成29年10月4日（水）「学修成果の評価方法について～ルーブリックの導入に向けて～」
参加者91人（教員84人、職員7人）
 - 第3回 平成30年3月7日（水）「学生をやる気にする教育と支援～教職協働に向けて～」
参加者78人（教員64人、職員17人）
- ・ 教職員カフェ
 - 第1回 平成29年6月7日（水） 参加者35人（教員32人、職員3人）
 - 第2回 平成29年10月4日（水） 参加者16人（教員15人、職員1人）
 - 第3回 平成30年11月1日（水）「初年次教育について」参加者64人（教員56人、職員8人）
 - 第4回 平成30年3月7日（水） 参加者78（教員61人、職員17人）
- ・ FD・SDニュースレターの発行
 - No. 3発行：平成29年9月27日（水）
 - No. 4発行：平成30年3月1日（木）
- ・ FD・SD研修会
 - 第1回FD・SD研修会 平成29年4月2日（日）
「三つのポリシーの策定と運用～本学における今後の展開～」副学長（教育担当）大平曜子教授
参加者122人
 - 第2回FD・SD研修会 平成29年12月27日（水）
基調講演「PBL・ALの実践事例による地域との連携」
松本大学・松本大学松商短期大学部 学長 住吉廣行 氏
パネルディスカッション
パネリスト 住吉廣行（松本大学学長）
松本茂樹（関西国際大学経営学科長、日本地域創生学会関西支部長）
榎木 浩（兵庫大学現代ビジネス学部長・教授）
前田典子（兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科・講師）
コーディネーター 吉原恵子（FD・SD推進委員長、兵庫大学生涯福祉学部長・教授）
参加者109人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ALに関する研修会を実施したことにより、各教職員の教育の質向上に対する意識を高めることができたとともに学修成果の評価方法について各教員が考える機会となった。また、AL研修会に合わせて教職員カフェを開催したことにより、AL研修会のテーマに関する教員間のフリーディスカッションが可能となり、学科間のコミュニケーションをはかることができた。

授業公開を実施したことにより、教員相互の授業参観が可能となった。授業参観については、他の授業科目の学習内容を知ることができ、授業デザインの参考となり、教育力向上に資することができた。

FD・SDニュースレターの発行により、「FD・SD活動」を周知させることができた。また、平成29年度は、「STAFF VOICE」として、職員の仕事内容を伝え、教職協働を進展させる機会にもなった。

FD・SD研修会の開催により、教育改革の必要性と課題を認識することができ、今後の教育改革の参考となった。

以上のような活動を通じて、教員相互、また教職員間において、実質的な授業改善に関する意識と技術を高めるとともに、教育の質向上に取り組む姿勢や環境を推進することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

無

授業評価アンケートの項目の見直し及び活用方法について検討を行い、次年度において実施することとなった。

b 教員や学生への公開状況，方法等

各教員へ結果を配付し、集計結果は、インターネットを通じて公表している。
(学内からのみ閲覧可)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙2のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成30年11月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年12月中旬を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に認証評価期間「日本高等教育評価機構」において受審済。
・次回受審は平成35年度までに受審する予定で検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)

b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (年 月 日)

(注)・「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。